

ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展 日本館代表  
奥能登国際芸術祭2017(9/3~) 出品作家

岩崎貴宏

来沢、トーク開催決定!



第57回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館  
岩崎貴宏「逆さにすれば、森」会場風景  
撮影：木奥恵三  
提供：国際交流基金

現在、イタリアで開催中のヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館代表、岩崎貴宏氏が8月20日(日)に来沢し、トークを行います。ヴェネチア・ビエンナーレに関しては、今年5月の開幕以来、数々の報道がされてきましたが、直接ご取材いただける貴重な機会となります。また、岩崎氏は、9月3日(土)に珠洲で開催する奥能登国際芸術祭2017の出品作家の一人でもあります。

当トークは、今年のヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館キュレーターで、金沢21世紀美術館キュレーターの鷺田めろの企画により、シリーズ「自治区」第6弾として行われます。ヴェネチア・ビエンナーレの出品作品や、奥能登国際芸術祭で発表する作品について、その背景も含めて作家自身が語ります。

是非、事前告知、ご取材をお願い申し上げます。

## 「自治区」について

今年度、金沢21世紀美術館が立ち上げた自主自由自立自律自治をコンセプトにした活動区の総称。美術に限らず科学、歴史、社会学など、学際的に他の領域を横断しつつ、年間を通してライブ、映像上映、トーク・シリーズ、滞在制作、身体表現など多様なプログラムを継続的に実施。「自治」をキーワードに、外部コミュニティとの連携・協働を通じて、これまでの美術の領域を超えるべく実験的なアクティビティを展開するものです。公式サイト <http://jichiku.com>

イベント名 自治区06 トーク・プログラム 岩崎貴宏「これまでとヴェネチアとすこし能登」

日時 2017年8月20日(日) 15:00~16:30(開場15分前) ※終了後17:30までアフターパーティあり

会場 金沢21世紀美術館 プロジェクト工房

料金 500円 定員 先着50名(先着順、事前予約不要)

出演 岩崎貴宏

主催 金沢21世紀美術館[公益財団法人金沢芸術創造財団]

お問合せ 金沢21世紀美術館 TEL 076-220-2801(学芸課 鷺田)

## プロフィール

## 岩崎貴宏 IWASAKI Takahiro

1975年広島県生まれ、広島県在住。広島市立大学芸術学研究科博士後期課程修了。エジンバラ・カレッジ・オブ・アート大学院修了。2015年、ニューヨークのアジアソサエティにて個展、同年、黒部市美術館と小山市立車屋美術館で個展を開催。第10回リヨン・ビエンナーレ（2009）、ヨコハマトリエンナーレ（2011）、第7回アジア・パシフィック・トリエンナーレ（2012）、2013アジア・アート・ビエンナーレ（国立台湾美術館）、第8回深セン彫刻ビエンナーレ（2014）などの国際展、「六本木クロッシング2007 未来への脈動」（森美術館、2007）、「日常の喜び」（水戸芸術館現代美術センター、2008）、「trans×form ーかたちをこえる」（国際芸術センター青森、2013）、「日産アートアワード2015」（BankART Studio NYK）などグループ展への参加多数。

奥能登国際芸術祭2017にも参加。

[https://urano.tokyo/artists/iwasaki\\_takahiro](https://urano.tokyo/artists/iwasaki_takahiro)



撮影：友枝望

## 参考

## 第57回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展 概要

会期：2017年5月13日（土）～11月26日（日）

総合キュレーター：Christine Macel（クリスティン・マセル）

総合テーマ：「VIVA ARTE VIVA」

## ●日本館

タイトル：「Turned Upside Down, It's a Forest / 逆さにすれば、森」

出品作家：岩崎貴宏（いわさきたかひろ）

キュレーター：鷺田めるろ（わしだめるろ）

コミッショナー：国際交流基金



第57回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館  
岩崎貴宏「逆さにすれば、森」会場風景

撮影：木奥恵三  
提供：国際交流基金

## 奥能登国際芸術祭

会場：石川県珠洲市全域

参加アーティスト：11の国と地域から39組

会期：2017年9月3日（日）～10月22日（日）

総合ディレクター：北川フラム（アートディレクター）

※奥能登国際芸術祭ホームページから引用しました。